

1 年生の皆さんへ 今後のカリキュラムについて

これから皆さんは兵庫医大で医師を目指して勉学に励むことになります。そこで 2018 年度以降のカリキュラムについて解説します。内容的には大きな変化はありませんが、カリキュラムの構成について変更がありますので、説明します。

本学は講義時間が 75 分で、1 日で最大 5 コマです。また試験期間、再試験期間を設けています。これまで非常に長い試験期間・再試験期間が設定されていました。これは学生の皆さんの試験期間を長くという要望に沿ったものでしたが、その影響で 5 コマの講義の日が続くことが多いのが現状でした。その結果、長時間の講義は大変辛く、長い試験期間・再試験期間に拘束され、逆に学生さんにとって厳しいものでした。結果として日々の予習復習がしにくく、試験前の一夜漬けに頼りがちです。この弊害を打破するため、2015 年度 1 年生よりカリキュラムの構成を変更しています。

- 1) 講義科目数、コマ数の削減。
- 2) 講義室での学年全体への講義は 1 日 4 コマ以内。5 時限目は自習とする。
- 3) 5 時限目は予習・復習、教員による補習、オフィスアワーなどに充てる。
- 4) 実習、語学、健康スポーツ科学、少人数教育などは 5 コマ目まで使用する。
- 5) 試験期間・再試験期間を短縮する。1 日に複数科目の試験も実施する。
教育的配慮から試験日程は原則として教務委員会で決定する。
- 6) 第 2 学年以降も経年的に改革していく。

学生の皆さんは、普段から予習・復習に励み、試験前の一夜漬けはやめましょう。5 時限目を予習・復習などに有効に使い、課外活動の充実にも役立ててください。試験期間が短くなりますので、計画的な勉強を心がけてください。新しいカリキュラムの構成ですので、先輩からの情報は役に立たず、マイナスな場合もあります。注意してください。

この 1 年生の間に受験勉強から脱却し、大学の勉強に切り替えてください。受験では与えられた課題をこなす受け身の勉強が多かったと思います。大学では、自ら勉強内容を定め勉強計画を立てる能動的な学習が必要です。医学は暗記する内容が多いと思われがちです。確かに解剖学をはじめ、最低限は暗記が求められます。しかし重要なことは、理解して知識を整理することです。丸暗記ではなく理論的に知識が引き出されるようにしなければ、考える力に結びつきません。医師にとって人間性や基本的知識・技能はもちろんですが、問題解決能力も必要な能力として求められています。これは患者さんを観察し、鑑別診断を行い、患者さんにとって最適な治療を考えていく能力です。これを身につけるためには、学んだ知識を自分なりに整理して症候から考察し、考える力が必要です。是非、1 年生の間に大学への勉強に切り替え、学ぶ喜びを感じることができる学習スタイルに切り替えてください。

いうまでもありませんが、患者さんは症状を訴えて受診します。第 3 学年次では臓器別に学んだ知識を、症候別に確認する内科系まとめ試験を総合進級試験として実施することも検討しています。一方向からではなく、多方面から知識を整理する能力も養ってください。